

## 1．評価の経緯

宇宙開発委員会は、「宇宙開発に関する重要な研究開発の評価について」(平成15年6月4日 宇宙開発委員会決定)により、宇宙開発を効率的かつ効果的に推進するため、「宇宙開発に関するプロジェクトの評価指針」(平成13年7月 宇宙開発委員会決定。以下「評価指針」という。)等に基づき、平成16年度に実施予定の重要な研究開発について、計画・評価部会において評価を行うこととした。

(本部会への調査審議付託文書及び本部会及び評価小委員会の開催状況を、参考1及び参考2に示す。)

## 2．評価方法

平成16年度概算要求に向けて、重要な研究開発について、以下に示す観点から、その目標や効果、実施体制等について評価した。

評価の対象となるプロジェクトについて、評価指針に基づき、事前評価(企画立案フェーズにおけるフェーズアップのための評価)、中間評価(実施フェーズにおける評価)、事後評価(実施フェーズ終了時での評価)の各ケースに応じた評価を行うこととした。

また、実施中の研究開発のうち重要なものについても、プロジェクトの効率的かつ効果的な推進に資するため、その進捗状況等を確認することとした。

## 3．審議の進め方

「我が国の宇宙開発利用の目標と方向性」(平成14年6月26日 宇宙開発委員会)及び宇宙開発に関する長期的な計画の審議状況を踏まえ、宇宙開発の目的として以下を考慮し、各プロジェクトの意義・位置付けなどについて評価を行った。

- 安全で安心な社会の構築
- 国民生活の豊かさと質の向上
- 経済社会への貢献